

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 9 columns: 事業コード, 49, 事業名, 経営発達支援計画や事業継続力強化支援計画策定支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 商工会支援部, 担当課名, 南部支援センター, 担当課長名, 高橋 勝, 施策コード, 7, 施策名, 関係機関との連携強化による課題解決力の向上

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

令和元年7月に小規模事業者支援法が改正され、これまでの金融・税務・労務といった基礎的経営改善から経営発達や災害リスクに対する伴走型支援が求められている。

2. 事業のねらい

商工会が市町村と共同で計画を策定することで、行政施策等との関連付けや商工会が担うべき役割が明確となることから計画の認定を支援する。

3. これまでの評価結果

Table with 9 columns: 過年度, H29, -, H30, -, R1, -, R2

今年度より実施

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

今年度より実施

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 116 and 117.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns for performance metrics across years H29 and H30 for codes 116 and 117.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

県内小規模事業者は新型コロナの影響や頻発する災害など様々な経営危機を抱えており、それらに対応するためには、市町村と共同で計画を実行し、事業者支援を行っていくことがますます重要となっている。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

経営発達支援計画及び事業継続力強化支援計画については、一部の商工会を除きほぼ計画通りに推移しており、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

新型コロナへの対策として、オンラインでの個別相談会を実施することで効率的に支援することができた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

オンラインによる個別相談会の開催や嘱託専門指導員の巡回による計画策定支援を行ったことで、商工会の計画認定につなげた。

3. 課題

地域での商工会の役割を明確にしていくために、市町村が策定している商工業振興策と商工会の経営発達支援計画を連動させ、市町村と商工会が共同で事業者支援に取り組んでいく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

未認定会の計画策定支援に加え、国が提供する地域経済分析システム「RESAS」を活用した地域経済の分析や、伴走型事業の好事例から効果的な需要開拓手法をモデル化するなど、地域や事業者により効果をもたらす計画実行手法を提案する。